

- ・1959年9月～1960年3月：（株）富士高周波研究所（2年後黒字倒産）  
トランジスタラジオ・ホームレコーダ設計研究開発・組立現場指導

1960年4月1日 山武ハネウエル(株) 入社

### <フォーマル>

「蒲田工場」：1960～

- ・製品検査（すべてアメリカ；ハネウエル社の輸入製品）
- ・部品検査
- ・空気圧式空調システムの日本市場導入に関して中心的役割を果たした

「藤沢工場」：1961～

- ・フィールドサービス（自動制御全般に関するサービス）
  - ・開業時の東海道新幹線（こだま）の特殊センサを設計・採用・評価テスト
  - ・御陵列車の温度調節器（アメリカ製）の修理（品川～熱海の間で試乗修理）
  - ・大型タンカー（10万トン）のボイラー制御装置の修理（炎検出器）
  - ・原子力発電所の一部設計および出張技術トレーニング
- ・建設現場設計・監督
  - ・1964年～66年、パレスサイドビル：地下6階で2年間設計・施工・監督
- ・技術部製品開発（乾湿球温度検出器他、特殊センサ類が多い）
  - ・オフィスビル・ホテルその他大規模建築の約80%くらいに使用されているサーモスタット・センサ類の設計開発にかかわった
- ・技術トレーニング担当（大手建築設計事務所・ゼネコン・特約店・代理店）
- ・人事部特別プロジェクト（中堅社員研修担当）

### 「伊勢原工場」：1970～

- ・ 技術トレーニング担当（大手建築設計事務所・ゼネコン・海外研修生・特約店・代理店）
- ・ 読売理工学院（現読売専門学校）：環境設備科 講師
- ・ 部品などの標準化プロジェクト構築
- ・ 実験室管理
- ・ 製造技術
- ・ 生産管理
- ・ 品質管理
- ・ 製造組立現場管理・監督

### 「本社」：1986～1994

- ・ マーケティング部（製品企画・開発・営業サポート）
- ・ 1887年5月、スイスの「直結形ダンパ操作器」を契約・導入（空調市場の標準になっている）
- ・ 1990年3月、「室内環境対策最前線 欧州調査団」に参加（7日間）
- ・ 1990年10月、BEMSプロジェクト（当時建設省管轄）の委員としてドイツのストットガルト大学で開催されたIEC会議に日本を代表して参加した。早川が作成した「各種センサ選定ガイド」がIEC標準として採用された。
- ・ 現場対応の特殊センサ類を提案・設計・納入  
迎賓館・長野県庁・大阪体育館・さいたまアリーナ・国立美術館・国立博物館・etc.

### <インフォーマル>

- ・ 山武サッカー部創設に関係（プレーイングマネージャー、年間51試合）  
日本サッカー協会4級審判員 取得：地元小学校のコーチと大和市サッカー協会審判員を約10年間
- ・ 独身時代、信号待ちで追突され車は全焼、1ヵ月ムチ打ち病で入院（後遺症無し）
- ・ 翌年、スキーで複雑骨折し、3ヵ月入院
- ・ 山武ハネウエル(株)グループ労働組合の民主化に関係（伊勢原地区支部長 ⇒ 全国事務局長）

1994年8月31日 山武ハネウエル(株) 定年前退社

1994年10月3日 (有)ハヤカワ・テクノブレーン 設立

- ・「室内空気環境による健康障害の予防と対策」をメインテーマとしてスタート  
室内空気環境の測定→診断→改善アドバイス→改善施工工事
- ・主として建設・リフォーム会社に対するアドバイス・出張講師  
改善特殊施工（シックハウス対策工事・室内空気環境測定・喫煙ルーム対策・etc.）
- ・1994年12月、山武ハネウエル(株)（現、(株)山武）と技術コンサルタント契約  
主として特殊センサ類の提案・設計・開発・組立・納入をサポート  
迎賓館・各種美術館・国立博物館・アリーナなどの特殊センサ類の提案  
・設計開発・組立・納入  
2004年、新首相官邸の首相室・VIP室の特殊センサを(株)日建設計に提案し採用される。  
設計・開発・組立・現場納入まで対応して山武関連製品のサポートを中止
- ・1996年11月、鹿島建設(株)と契約し「電力消費量モニター」などの試作協力
- ・1999年、シックハウス症候群対策として「電子クリーニング方式」を提案
- ・1999年～、「健康住宅アドバイザー」講習会、講師
- ・1999年11月、TOKYO MXテレビの取材を受け放映
- ・1999年12月、(株)松下電工と空調市場参入に対する技術コンサルタント契約  
提案内容が実現されるのに時間と手間がかかりすぎるため解約を申し出た
- ・2000年3月、ドイツの「環境臨床医学研究所」を自費訪問
- ・2001年、「室内空気質測定技術者研修」：実習を含めたものとして日本で初めてのもの
- ・2003年、キズついた細胞を修復し免疫力を高める「糖質栄養素」と出会い普及
- ・2004年、大成建設(株)本社（新宿センタービル）喫煙室防汚工事、5室、他
- ・2005年、「活性酸素」を分解する「水素イオン」と出会い普及
- ・2005年、シックハウス症候群対策として「オールチタンコーティング」施工採用
- ・2007年、(株)山武を湘南国際マラソンのスポンサーに推薦し実現、継続中
- ・2008年、(株)オーム社発行「設備と管理」、2009年版「ビル設備管理ガイドブック」  
特集：「室内環境の実態と対策」30ページを一人で執筆

## 2003年10月1日 NPO法人IHTB 設立：

- ・ 設立者兼理事長として現在に至る
- ・ 将来を見据えて健全な形で継続することを目的としている
- ・ 「身近な環境と健康」→健康に重きを置く

## ライフワーク：

- ・ 「健康」という目線で身近な「環境」問題に総合的に取り組む
- ・ 「一人でも多くの人に健康を」という思いで取り組む
- ・ 多くの最新情報を駆使した「トータルの問題解決方法」で社会に貢献する

## 基本的な考え方

- ・ 「見える科学」と「見えない科学」がある。環境と健康に関する問題は「見えない科学」が圧倒的に多い
- ・ 「世の中には、ホンモノは有るが完璧なモノは無い」
- ・ ホンモノとオンリーワンにこだわる
- ・ 正しい情報を伝え、納得したら「自分の責任で自分で決めること」を条件とする

## モットーとしていること：

- ・ 出会いを大切にする
- ・ 「会社」の規模ではなくて、「人柄」とお付き合いをする
- ・ 「井戸を掘った人」（紹介者）を大切にする
- ・ プラス思考、Never give up!
- ・ 騙されても騙さない生き方
- ・ 現物現場第一 ・ 中立主義を貫く
- ・ スピードとフレキシビリティを大切にする
- ・ 年齢を気にしない生き方
- ・ 生涯現役で楽しくチャレンジする

以上

### 主な資格：

- ・電話級アマチュア無線技士（AJN第1728号）
- ・日本サッカー協会4級審判員（19985-11）
- ・消防設備士甲類第4類（交付番号：62-77）
- ・建築設備士（登録番号：0300-0026KY）
- ・建築設備検査資格者（登録番号：29122）
- ・経営労働管理士（登録番号：3454）
- ・健康住宅アドバイザー（登録番号：96-6023）一部講師担当
- ・室内空気環境測定技術者（資格認定者）
- ・1級計装士（建設大臣認定：第96-10202）

### 主な会員：

- ★NPO法人 IHTB 設立者兼理事長
- ★日本臨床環境医学会
- ★室内環境学会
- ★（社）建築設備技術者協会
- ★NPO法人 次世代環境健康学センター
- ★化学物質問題市民研究会
  - ・空気調和・衛生工学会
  - ・NPO法人 日本健康住宅協会
  - ・住環境医学研究会
  - ・NPO法人 感性教育総合研究所理事
  - ・自衛隊体育学校後援会

★ 印を残して、その他は卒業する予定